「2011 年初級登山学校を終えて」

2011 年度「豊中勤労者山岳会　初級登山学校」８名を代表致しましてここにお礼の言葉を述べさせて頂きます。

まず、私たち８名がこうしてこの場に居れることを何よりも感謝しております。

素人同然の私たち生徒に、あるときは厳しく指導し、またあるときは、やさしく語りかけていただき、技術だけでなく精神的なところでも山の魅力を伝えてくださったこと。

豊中労山初級学校そして豊中労山の魅力あるスタッフの方々だからこそ、私たちに伝わったのだろうと感じております。

ここで学んだことは、必ず私たちの山行の礎となるでしょう。

「ありがとうございました」そして「これからもよろしくお願いします」

生徒会長　碓井 亮

」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」

【岡部 利男　A 班】

感動を求めて、私は山で夕日を見るのが大好きです。　一番最初に見たのは、白山の甚ノ助小屋で夕日を見て感動し、その後　涸沢で夕日に沈む穂高の山々を見ながらビールで乾杯しながらうっとり…

劔沢のキャンプ場で、夕日に沈む劔を見ていると涙が出てきました。

そんなこんなで、夕日を求めて５年間、手当たり次第に山に登っていた私は、最近ふと疑問が・・・もっとちゃんと勉強して山に登らないと危険では、そう思って豊中労山の初級登山学校の門を叩きました。

岩トレ、沢入門、読図訓練、天気図の見方等と楽しい授業があっという間に過ぎてしまいました。　もっともっと岩トレをしたかった・・・。

また校長先生から、ダイエットの課題をいただき、４ｋｇ痩せただけで友人から、歩くスピードが早くなったねと言われて一人でニッコリ、本当にありがたいことです。　これからは、ここで知り合った楽しい仲間と一緒に安全登山を心がけて、山を楽しんでいきたいと思います。

校長先生はじめ、スタッフ、コーチの皆さまには、心からお礼を申し上げるとともに、これからもご指導をよろしくお願いします。

」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」

」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」

【前田 しのぶ　A 班】

「六甲以外の山にも登りたい」という初心者にも「超」が付くような私が、チラシを見てふんわり問合せをし、広高校長から返信メールに次いで電話で熱心なアドバイスを頂き、その情熱に背中を押されて初級登山学校に参加させて頂きました。もちろん楽しみは初のテント泊や沢登りなどの実技でしたが、実際の実技や大先輩方のお話で山の厳しさや危険を知るにつれ、座学で教えて頂く内容の大切さが良く分かりました。

岩や沢登りがここでは書ききれない程楽しく刺激的な経験であったことはもちろんのこと、「雨の中の山行」も記憶に残る経験でした。こんなに雨に好かれた初級クラスも他に無いのでは？と思うほど、私のテルテル坊主は全くの役立たず。

広高校長の「雨も良い勉強になるからね ウッフッフッ」という笑みが時には鬼(?)のようにも見える一瞬。雨に濡れたら寒い、カッパを着れば蒸して暑い、雨やら汗やらもうよく分からない状態でテント設営も気が焦り、雨が上がればブトが襲ってくる･･･もうイヤだ！

それでも、ふと見上げれば雨に濡れた木々の緑が色鮮やに遠く霞む幻想的な景色、どんな時でもやっぱり自然は美しいと心が癒される瞬間がありました。

全て楽しいことばかりとはいきませんが、やはり登りきった後の達成感と仲間と酌み交わす夜のお疲れさまビールは疲労感を一気に消し飛ばしてくれる魔法です(笑)

初級登山学校を終えて、初めて本当に山の魅力の一端を知ることが出来たように思います。

」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」

【吉村 叔郎　A 班】

初級学校に誘われました時、今さら学校と思いましたが、入校させて頂いて自分一人では出来ない経験をさせて頂きました、それはまずロッククライミングです。ロッククライミングを実際に経験すると楽しさが判りました。次に沢登りで、沢はロッククライミングより尚難しいと思いました､それは川の中がよく見えないので、足をどこに置いて良いのか悪いのか、水流があるのでうまく登れないのです。これからどれだけ続けられるか判りませんが、色々経験を積んで楽しんで行きたい。

今までは一人でハイキングをしておりましたが、事故やケガ等など心配で気の合う仲間と一緒にハイキングが出来たら楽しいなと思って入会いたしました。　入会して約 10 ヶ月程経ちましたが、初級学校に入らなかったら会の人もあまり知らなかったと思います。又　会に入会して年齢、職種等関係なく付き合える仲間が出来て良かったです。　今回御世話頂いた、B 班や C 班の人とお会いして、だいぶ名前と顔を覚える事が出来て、会がより楽しくなりました。　これから信頼される CL になって、楽しい山行をしようと思っております。

」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」

」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」

【古川 正人　B 班】

「一期一会」とは、生涯にただ一度まみえること、一生に一度限りであることと、広辞苑に載っている。私にとって初級登山学校とは、一期一会であり、大切にしたい運命的な出逢いになった。

山と言えば、ウインタースポーツ以外で行ったことがない完全な素人だったが、蓬莱峡から始まった実技を通して、山が大好きな冒険小僧になってしまった。

山には、川も、岩も、空も、虫も、植物も、そして仲間も、様々なものが揃っている、とてつもなく大きいフィールドだ。この半年、見た事のない景色を何度見た事か。

これからも続く初級の仲間、これから出逢う山関係の仲間、そしてまだ見ぬ山との出逢いを大切にしたい。そして、このような機会を設けてくれた、豊中労山の諸先輩方に心から感謝したい。

２０１１年、豊中労山初級登山学校との出逢いは私の人生において大きな意味を持つことは間違いない。

」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」

【野坂 奈美　A 班】

ホームページで前年の生徒さんの岩登りの写真を見て、これは無理かもしれないと恐る恐る申し込んでから早半年、今ではちょっとした岩を見ると思わずホールドを探してしまいます。約 4 ヶ月、毎週のように土日に座学と実技で基礎から教えていただき、とても充実した日々を過ごしました。うだるような暑さでバテたり、虫刺されで酷い目にあったり、あまりの高さに足がすくんだりと挫けそうになることもありましたが、初級の仲間や先生・先輩方に支えられ、励まされ何とか無事に終えることができました。小屋泊まり 1 泊 2 日の経験までしかなく、地図もまともに読めない。ほとんど何も知らないところからのスタートでしたが、テントを背負っての縦走や沢登り・岩登り、こんな山の楽しみ方があったのかと新たな世界が拓けたような気がします。まだまだ、体力、技術など足りないところは多々ありますが、どんどん山に繰り出して磨いていきたいと思います。

立山への修了山行が台風の影響でなくなってしまったのが唯一の心残りですが、是非来年に全員でリベンジしたいと思います。

」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」

」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」

【上村 基夫　A 班】

実はテント泊は約 50 年前の小学校の林間学習以来であった。黙っていたが、「初級」なのだからと居直り参加した。先ず、狭い・中腰より低い姿勢で動かなければならない・リュックの整理もやりずらい・動くとシートがくしゃくしゃ・すぐに＜腰・足・お尻＞が痛くなる。寝る以外に使いたくない。幸い未経験で済んだが、雨のときはテント内で食事を作り、食べ、片付ける。どこまで冷静に共同生活ができるか？寝返りにも気を使う。木の葉が揺れ擦れる音に「雨？」とビクつく。「いびき」をかかないようにと気を使うが、寝てしまうと人格は無くなる。第 1 回目は今後耐えられるか？という印象だった。

それでも、2 回 3 回と経験すると、印象が変わった。見ず知らずの者だった者同士に仲間意識が芽生え、日常生活で気になっていた耳鳴りがが、ここではそれが無い。体に変化が生じている。自然との一体感か？、日の出を待つとき「無の境地」のような静寂と威圧感。日が昇ると起き、日が沈むと寝る。これは何物にも代えがたい。ちょっとぐらい窮屈でも、意のままにならなくても、山歩きの醍醐味の１つはテント泊だと初級学校で気づいた。それから、とうとう、今般、テントを手に入れた。

」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」

【福家 枝里　A 班】

「山歩きが好きだから、もっといろいろ知りたい。」それだけの軽い気持ちで入った初級登山学校。入ってから、「えっ、ボッカ？」、「えっ、６０ℓのザック？」。わけがわからないけれど、もうがんばるしかしょうがない。生徒の中ではもちろんべべたの落ちこぼれ。ボッカでもテント泊でも迷惑をかけっぱなしでしたが、みんなに励まされ、広高校長から叱咤激励、愛の鞭ももらい(笑)、何とかおまけで「合格」と言ってもらえました。

うれしかったのは１５キロのザックを背負い六甲の七曲りを休憩なしで登れたとき。でももう一度やれと言われてもできるかどうか…。蓬莱峡岩登りでは落ちこぼれの自分が楽しんでいるのに自分でびっくり。友だちを誘ってもう一度室内ジムにも行きました。そして圧巻の白滝谷沢登り。「２０才若ければわたしもＣ班に…」なんて口走ってしまって…、これ大きな勘違いですね。

アルプステント泊は私にはまだまだ遠いけれど、初級登山学校で学んだことを大切にこれからもマイペースで山歩きを続けたいと思います。

ありがとうございます！　諸先輩方。　ありがとう！　心やさしき仲間たち。

」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」　」

【碓井 亮　B 班】

私の「初級登山学校」の始まりは突然でした。開校式当日の昼間に行われたハイキングセミナーで広高校長へ無理を言い滑り込みで入校が全ての始まり。「アルプスへ登りたい」の思いだけを胸に抱き、歩き方、テント泊、沢登り、岩登りと一通りの山での入門的な実技、座学を学んだ中で、それぞれに共通することは何か？とふと考え直すと「読み解く力」「リスク回避」だと感じました。読み解く力からは、どうすれば疲れず歩けるか、どうすれば迷わず歩けるかと言ったようなルートファイティングの重要性を学び、またリスク回避からは、言葉のとおり怪我をしない、事故をおこさないためには何をすればいいのか、どのような判断を下す必要があるのかを学びました。また、個人的には班長、生徒会長まで経験させていただき初級メンバーに「ありがとう」とお礼の言葉伝えたいです。

同じ目標を頂いたメンバーと共に蓬莱峡の歩き方カリキュラムから始まり最終の比良山テント泊まで、あらためて写真を見返すことがあり、ふと感じたことが「成長したね。みんな」